



# 志の言の葉（第5集）

～大切な人に伝えたい私の思い～

令和8年1月

志布志市教育委員会 編

## はじめに

『志の言の葉』大切な人に伝えたい私の思い(第五集)』がここに完成しました。皆様にお届けできることを心から嬉しく思います。

今年度はこれまでの「大切な人に伝えたい私の思い」部門に加え、戦後八十年ということで、「平和へのメッセージ」部門も募集しました。高校生にも募集を行い、市内各校から二千二百十五点もの応募があり、学校で選出された百三十八点と、保護者の方、地域の方からお寄せいただいた百三十八点の合計百四十六点が掲載され、大変読み応えのあるものになりました。

私達の毎日は、多くの人々との支え合いによって成り立っています。家族、友人、仲間、すれ違う一瞬の中で出会う人々……。その一つ一つのかげがえのないつながりこそが、心を温め、未来を紡いでいく大切な糧となっています。この文集には、それぞれが心から伝えたいと思う感謝の言葉、また戦争などの争いを憎み、平和を願う力強い思いが込められています。一言一言に込められた真心が、受け取る読み手の皆さんの心に響き、優しさと穏やかな気持ちを広げることを願っています。

平和の願いは私達全員の共通の願いでもあります。一人の小さな感謝が大きな輪となり、争いのない世界を作る流れになると信じています。この文集を読んでくださった皆様が、温かな気持ちで満たされますように。そしてこの文集が、心と心をつなぎ、未来をより平和で素晴らしいものへと導く一歩となれますように。感謝と平和の灯火が、ここから広がることを願っています。

令和八年一月

志布志市教育委員会

保護者へ

いつもありがとうございます

松山小学校二年

おかあさん、いつもごはんつくってくれたり、せんたくものしてくれたりありがとう。わたしもマッサージしてあげる。これからもよろしく。

とといつもありがとう

松山小学校四年

ぼくほ、ととからいろいろまなんだことがあります。ぼくのととは大工さんです。だから、いろいろな乗物に乗せてくれたり、道を教えてくれたりします。

ととのおかげで、しょうぎやいごも学んだよ。それに仕事のくぎうちもね。

まだぼくは、大工には、近づけていません。だからまだいくさんになれないのでたくさんくんれんします。またいろいろおしえてください。ぼくもりっぱな家をたてられる大工さんになります。

大すきなおかあさん

泰野小学校一年

おかあさん、いつもありがとう。おかあさんは、いつもわたしたちのためにごはんをつくってくれます。おかあさんのごはんは、おいしいです。たまには、がっこうまでむかえにきてくれます。わたしは、うれしいきもちになります。おかあさんは、いつもわたしとねてくれます。いっしょにねてくれて、わたしはあんしんしてねむれます。おかあさんは、いつもべんきようをおしえてくれます。わからなくてけんかをするときもあるけど、いっしょにがんばっています。

わたしは、そんなおかあさんが大すきです。

かあちゃん、いつもありがとう

泰野小学校二年

いつもべんきようを教えてくださいありがとうございます。けんかをするときもあるけど、ぼくからすぐ「ごめんさい。」って言うから、すぐになかなおりしようね。ぼくは、かあちゃんのつくるハンバーグがとっても大すきで、いつでも食べたいよ。

かあちゃん、これからもわるいことをしたら、おこってね。べんきようも教えてね。かあちゃんが気分がわるくなったときは、なんでもお手つだいするからね。

いつもありがとう

泰野小学校三年

ぼくは、小学校一年生からサッカーを始めました。サッカーの練習に行く前にお母さんは、仕事からつかれて帰ってきててもサッカーのじゅんぴをしてくれて、いつもおながすかないようにおにぎりを作ってくれます。

そして、さい近サッカーのスクールにもかよい始めました。少しはなれているので、おくりむかえが大へんです。

お父さん、お母さんぼくのためにいつも、ありがとう。サッカーまえのおにぎりが大きいです。

お母さんへ

尾野見小学校五年

いつも、農業の仕事や料理をしてくれてありがとうね。夕方お母さんが仕事を終わって家に帰ってきた時にトイレそうじをし、せんたく物をたんで片付けたり、つかれているのに料理を作ったりしてくれて本当にいつも感謝しています。だから、ぼくもお母さんのつかれをとるためにせんたく物を片付けたり、飲み物の用意などを毎日するので、お母さんも、ゆっくりして、つかれをとつてね。仲良く、これからも楽しい家族にしようね。そしてぼくも計画をちゃんと立てること、みんなに優しくすることを目標にがんばるね。

がんばってありがとう

志布志小学校二年

ぼくのお父さんは、いつも夜おそくまでしごとをしています。でも、帰ってきたらぼくたちとあそんでくれます。おこられるときもあるけれど、一生けんめいがんばっているお父さんが大きいです。

ぼくは、一年生のとき、朝になると、学校に行くことがふあんで、いつもないていました。お父さんは、ぼくがおちつくまで、そばにいてくれました。今は、友だちがいっぱいできて、元気にとう校できます。お父さんは、がんばりやさんなので、つかれているときもあります。ぼくのためにがんばってくれたお父さんのお手伝いをしたいです。ぼくのお父さんは、すごいです。お父さん、いつもありがとう。

## お母さんお父さんへ

香月小学校四年

わたしは、お父さんとお母さんにかんしゃしています。とくに、ねつが出た時、か  
んびようをしてくれたことです。

ねつが出た時冷ピタをはってくれたり、飲み物を持ってきてくれたりたべたいごは  
んをつくってくれたりします。とくにわたしがとてもせきをしているとき夜中でも起  
きてわたしを見てくれます。たまにびょういんにわたしと母といっしょに行きます。  
薬も母がのませてくれます。

お父さんお母さんありがとうございます。わたしも人のためになにかを手伝いがんばりたいで  
す。

## お母さんありがとう

安楽小学校二年

お母さんは、しごとでいそがしくても、ぼくたちのために、おいしいごはんを作っ  
てくれます。おかあさん、ありがとう。ぼくが大切にそだてているかぶと虫のごはん  
のゼリーをかえるときも、てっだつてくれました。

夏休みのしゅくだいで分からないところも、やさしく、分かるまで教えてくれます  
た。たまにだけれど、いっしょにあそんでくれます。とてもうれいす。

ぼくたちのことを考えてくれるお母さん。いつもありがとう。

## ママありがとう

森山小学校一年

わたしがこまっていると、いつもたすけてくれるママ。アイロンがけがじょうずな  
ママ。がくどうにむかえにくるときは、にこにこえがおのママ。おこると、ちよつと  
こわくて、ごきぶりがいたらやつつけてくれる、つよいママ。だいすきだよ、いつも  
ありがとう。

## おばけなんてこわくない

森山小学校一年

ぼくは、おばけがこわい。といれにいくときも、ねるときも。  
でもぼくは、あかるくしてままがいれば、おばけなんてこわくない。

わたしのじまんしたいひと

森山小学校三年

わたしのじまんしたい人は、ママです。わたしのママは、おしごとであせをかきながらがんばっています。雨の日かんけいなくおしごとをしています。休みがないのがんばっていてすごいなと思いました。

また作ってね

伊崎田小学校三年

いつも家族のために、おいしい料理を作ってくれてありがとう。

ぼくは、お母さんが作ってくれるカレーが大好きです。お肉がたくさん入っていて、にんじんやじゃがいもやわらかくて、ごはんにぴったり合うこい味がさい高です。お母さんが作る料理を食べると、家族みんなが笑顔になります。

いそがしいときも、おいしい料理をたくさん作ってくれてありがとう。これからも家族のために、おいしい料理をたくさん作ってね。

おかあさんへ

蓬原小学校二年

ぼくは、もうすぐお兄ちゃんになります。妹が生まれることがとてもうれしいです。赤ちゃんが生まれたらたくさんだっこしたいです。

おかあさん元気な赤ちゃんを生んでね。うちのてっだいがんばるね。

すきなことが、できてくると

蓬原小学校三年

ぼくは、サッカーをしています。毎週月・水・金に練習をしています。かんとくやコーチが教えてくれます。チームメイトとかんとくやコーチがいないと練習やしあいができません。週末は、しあいがありますが、お父さんとお母さんが遠い所まで連れて行ってくれたりします。朝早い時もありますが、お母さんが早起きしてくれておべんとうを作ってくれます。お父さんは、ぼくの練習につきあってくれます。すきなサッカーができてるのは、みんなのおうえんがあるからです。これからもっと上手くなって、たくさんしあいに出たいです。いつも近くでおうえんしてくれるお父さん、お母さん、妹に「ありがとう」と言いたいです。

## がんばるお母さん

蓬原小学校六年

私には大切なお母さんがいます。私のお母さんは仕事をギリギリまでやって私をならい事につれて行ってくれます。でもならい事は火曜日から金曜日まであって、月曜日はゆっくりしてほしいけど、おそくまで仕事をしているからすごく心配しています。だから、たまには自分の見たい映画やテレビとかやりたい買い物とかをして休けいしてほしいです。あんまり無理してがんばらなくていいからね。

## ありがとうお父さん

有明小学校二年

いつもやさしいお父さん。お母さんにおこられた時、わたしをまもってくれます。わからない間だいがあると、いっしょに考えて、やさしく教えてくれます。でも、わたしは「お母さんの方がいい。」といったり、いじわるしたりすることもあります。それでも、お父さんはいつもわがママをきいてくれて、いろいろなどころにあそびにつれていってくれます。二人でのぼったからくだけ。二人で行ったふきあげはまのサイクリング。とつてもたのしかったよ。いつもいろいろなどころへつれていってくれてありがとう。これからもたくさんあそびに行こうね。

## じまんのお母さん

有明小学校四年

わたしが思いを伝えたいのはお母さんです。一つ目はいつもおいしい料理を作ってくれるところ。毎日作ってくれてありがとうと思っています。二つ目は、勉強でわからないところがあったら教えてくれるところです。「ここはこうするんだよ。」とやさしく教えてくれます。三つ目は家族思いなところです。妹のお世話をしたり、早起きしてみんなの朝ごはんを作ったりしてくれます。四つ目はやさしいところです。お休みの日に、わたしと二人でカフェやおんせんに行つて、わたしと二人きりの時間も作ってくれます。わたしも、お母さんのようにしあわせと思えるお母さんになりたいです。

## 自まんのお母さん

有明小学校五年

私のお母さんは四月に交通事故で頭に重症を負いました。事故後初めて会ったお母さんは、頭に大きなガーゼ、たくさんの管、話すことも少なく、ずっと目を閉じていました。泣かないと決めていたのに、涙が止まりませんでした。お母さんは「子供達に心配かけられない」と思い、ご飯を食べ、リハビリをがんばって、たった三週間で退院することができました。どんなにつらくても笑顔です。今では見た目は事故のことが分からないくらい元気です。でも、私は少し心配です。「無理しないでね。」と言うと、「リハビリだから大丈夫だよ。」と笑います。私の一番の自まんで、私はお母さんが大好きです。

## 大好きな父と母

有明小学校五年

私は、いつもいつも父と母をおこっってしまう。おさえきれない気持ち言葉に出ちゃうときもあるが、大好きだ。そんな父と母に思いを伝える。いつもいつもありがとう。大好きです。これからもよろしくね。

## 感謝の言葉

通山小学校六年

いつも僕と遊び、育ててくれてうれしかったです。お父さん、家族のために仕事をして、時には、一緒にゲームをしたりよくないことやけんかをしたりした時はしっかりおこったり僕達のために全力をつくしてくれてうれしいです。お母さん、つかれている時もかんけいなく、家事をしてくれてありがとう。僕や弟達がなめた態度をとった時もやさしくせつけてくれた事とかでやさしさを感ぜました。これからもよろしく願います。

## お母さんへ

通山小学校六年

お母さん、いつもおいしいご飯を作ってくれたり、家事をしてくれたりしてありがとう。お母さんは、いそがしいのに毎日洗たくをしてくれたり、ご飯を作ってくれたりします。ぼくの体調が悪いときも、毎日看病をしてくれました。こんなに忙しいのに文句を言ったりしてごめんなさい。もし困った時は、いつでもぼくをたよってね。ぼくが力になるからね。めいわくをかけるときもあると思うけど、これからもよろしくおねがいます。

わたしは今九さい

原田小学校三年

今までそだててくれた、お父さん、お母さんのおかげで、こんなに大きくなれました。

お父さんは、夜おそくまでおし事をがんばってくれています。休みの日には、遊んでくれたり、いろいろなところにつれていったりしてくれて、つかれているのにかんしゃしています。

お母さんは、毎日ごはんを作ってくれたり、わたしの話を聞いてくれたりします。し事もがんばってくれていて、かんしゃしています。

お父さん、お母さん、いつも家ぞくのためにがんばってくれて、ありがとうございます。これからも、楽しくすごそうね。

ありがとう

志布志中学校三年

僕の母は忙しい人です。会社で一日中働いています。家では、僕のためにご飯を作ります。母の作る料理は、何でもおいしいです。特にカレーライスがおいしいです。学校に送り迎えもしてくれています。高校見学にも行かせてもらってうれしいです。これから手伝いをして親孝行したいです。お母さん、ありがとう。感謝しています。

いつもお世話になっている母へ

志布志中学校三年

僕はクラブチームで野球をしています。大会では、福岡県や熊本県で試合をします。試合に行く前に、母は朝早くから起きて、朝ごはんを作ってくれ、集合場所に送ってくれます。応援にも来てくれます。こんなふうにもいつもお世話になっています。そうしてくれる母に心の底からありがとうと思っています。

これから高校でも野球をして、甲子園につれて行きたいです。

お母さんへ

有明中学校一年

お母さんだって忙しいのに、部活や習い事の送迎をしてくれて、テスト前には一緒に勉強をしてくれてありがとう。あと、お母さんは料理があまり得意ではないけど、たまに作ってくれたときは頑張って作ったんだなってうれしく感じます。体を壊さないようにこれからも気を付けて過ごしてください。

## 大切な人に伝えたい気持ち

宇都中学校一年

私にはいつも支えてくれた大切な人がいます。

まず、お母さんです。お母さんは私が落ち込んでいる時や元気がない時などにも話を聞いてくれます。また、毎日私たちのためにご飯を作ってくれたり、コロナなどになったときに看病をしてくれたりしています。

次に、お父さんです。お父さんも私が落ち込んでいるときはげましてくれず。そして私はおかげで元気を出すことができました。それから、私が勉強や宿題をしているときにわからないところがあるときにすぐ教えてくれました。

最後に、お母さん、お父さん、いつも支えてくれて本当にありがとうございます。

## お母さんへ

宇都中学校一年

いつも困った時に助けてくれたり、分からないことを教えたりしてくれてありがとう。頼もしくて、優しいお母さんに感謝しています。お母さんは、私が悩んでいるときに真面目に話を最後まで聞いてくれて、一緒に解決策を考えてくれて、アドバイスを私にも分かりやすく説明してくれます。話をしていてる最中も、私が泣いてしまった時、母は、おこらないで、背中をさすってくれながら話を聞いてくれます。母は、私にとって、優しくて頼もしくて、話を最後まで聞いてくれるまるで姉のような存在です。これからは、母が悩んでいる時や、困っている時があったら母みたいに手助けができるような人になれるようにがんばるからそばで見守ってね。

## 感謝の気持ちを伝えたい人

宇都中学校一年

誰に感謝の気持ちを伝えようかと考えたときに思い浮かんだのは、両親でした。

私は文章を書くのが苦手です。自分の気持ちを文章にして伝えるのも苦手です。だから、毎日宿題で出る日記を書くのにも苦労します。

そんな私にアドバイスやヒントをくれるのが、両親です。時には厳しいことも言われますが、どこか甘えている自分がいました。

しかし、いつまでも甘えているわけにはいきません。自分でも文章が考えられるようにならないといけません。そのために、たくさん本を読んで、使える言葉を増やしたいです。

お父さん、お母さん、いつもありがとう。

いつもありがとう

宇都中学校二年

僕の両親は、僕達のためにいろいろなことをしてくれれます。ご飯を作ってくれたり、洗濯物を洗って干してくれたり、部活動の送り迎えをしてくれたりします。ご飯の時には、おもしろい話をしてくれて食事の時間が楽しくなります。だけど最近、言い合いいになったり、雰囲気が悪くなったりします。最初の方はイライラするけど自分の方が悪かったなと思うことが多いです。親に迷惑をかけないようにして、いつも言えていない「ありがとう」を伝えられるようにしたいです。

### 素直に伝えられない言葉

伊崎田中学校二年

私の父は元気で優しい人です。そんな父に素直に伝えられない言葉、それは「ありがとう」です。落ち込んでいる時に全力で笑わせてくれてありがとう。悩んでいる時、遅くまで話を聞いてくれてありがとう。テストの時、問題を出してくれてありがとう。話す機会も少なくなり、「ありがとう」は言えずに悪い態度ばかりとってしまいます。だから、家に帰ったら、一度口に出して素直に「ありがとう」と伝えたいです。これからは素直になれないし、たくさん頼るけど、よろしく願います。そして、精一杯の「ありがとう」と「いつてらっしゃい」を伝え、朝から笑顔になってもらいたいです。これまでももらったたくさん之恩を、言葉で少しずつ返していきます。

### 広く、深く

尚志館高校一年

私の母は顔が広い。これは悪口ではなく交際範囲が広く知り合いが多いという意味である。そんな人を母に持つ私は反対に内向的だ。だからこそ母には並々ならぬ尊敬を抱いている。

私の母は変わっている。これも悪口ではない。もちろん良い意味だ。人間、何をもって普通とするかはそれぞれだが、私にとってはとても変でおもしろい母だ。ほとんどの何事も受け止め、好きなことの知識に富んだ不思議な存在。それが私にとっての母である。そんな母の自由でユーモアあふれる教育方針により、娘も自由にちよっぴり歪んで成長しました。ありがとう。大好き。でも服に蟬の抜け殻をつけまくるのはやめてね。

## 感謝の気持ち

尚志館高校三年

女手一つで、家族を支えてくれてありがとう。いつもお母さんは、夜遅くまで私たちのために働いてくれているよね。本当に感謝しかありません。絶対に疲れていて、お仕事も大変なはずなのに、私たち家族に疲れた様子を見せないところもかっこいいと思ってる。けれどたまには私たちにも色々相談してね。私にできることはあんまりないかもしれないけど、少しでもお母さんの役に立ちたいです。お母さん、本当にいつもありがとう。これからも迷惑をかけることも多いだろうけど、これからもよろしくお願ひします。

## 日々のありがとう

尚志館高校三年

健康に育ててくれてありがとう。怒られた時はうるさいなって思っているけど後々考えてみれば全部自分の為なんだって実感しています。怒ってくれてありがとう。自分がかうまくいったことや就職先の内定をもらった時も自分のことのように喜んでくれてありがとう。学校とか自分が悩んでいる時に仕事で疲れているのに相談にのってくれてありがとう。毎日のお弁当も家事も全てのこと感謝しかありません。今まで健康に育ってこれたのはお父さんのおかげです。今まで一人で育ててくれてありがとう。これからもずっと頼りにしています。よろしくお願ひします。

家族へ

わたしのきょうだい

松山小学校一年

ふたりのおにいちゃんといもうとへ。いつもけんかするけど、わたしがおこられたり、ないたりしている、やさしくしてくれてありがとう。ずっとなかよし四人でいようね。

僕の感謝している人

松山小学校三年

ぼくには二人のお姉ちゃんがいます。そのうち二番目の姉ちゃんは大学生で県外に住んでいます。今年の夏休みも家に帰ってきてくれました。その時に夏休みの宿題を手伝ってくれたり、ひまな時に遊んでくれたりしました。ぼくが分からない問題を聞くと、分かりやすくどうやってとくか教えてくれました。すぐには答えを教えてはくれません。いつもぼくに考えさせようとします。ぼくの話も最後まで真剣に聞いてくれて、ぼくのやりたいことをそんちようしてくれず。なにか相談したいとき、まずは、「琉ちゃんはどうしたいの？」と聞きます。ぼくはそんなお姉ちゃんが優しくて大好きです。

松山のじいじありがとう。

泰野小学校三年

ぼくの家の近くにおじいちゃんがすんでいます。歩いて三分の場所です。パパのお父さんです。ぼくは、「松山のじいじ。」とよんでいます。松山のじいじは、すごく元気です。いつもにこにこしています。目の横には、しわがあります。わらうと、くしゃつとしわがしぼんでかわいいです。ぼくが遊びに行くと「かわいいね。」

と言って、たくさんほめてくれます。ぼくを大事にしてくれます。ぼくは、とてもしあわせになります。ぼくのおじいちゃんできてくれてありがとう。松山のじいじ、大好きだよ。ずっと元気でいてね。

大切な家族への感しやの手紙

尾野見小学校四年

大切な家族へ。わたしが産まれた時わたしのことを大切にそだててくれてありがとう。わたしは、今の人生が一番楽しいと思っている。わたしは、このやさしい家族に産まれてきてとてもうれしかった。家族の集合写真がともかわいくて、今も家にかざられている。こんなやさしい家族は、いない。家族六人で長い長い人生を楽しく続けていこうね。この足もとから。大切な家族を大切にすこしていこうね。

わたしのかぞく

志布志小学校一年

わたしのかぞくは、五にんかぞくです。

パパへ、いつもおしごとがんばってくれてありがとうございます。つかれていてもプールにつれていってくれてありがとうございます。

ママへ、いつもごはんをつくってくれてありがとうございます。ママのこにこのえがおがすきだよ。

おにいちちゃんたちへ、いっしょにおふろにはいってくれてありがとうございます。いっしょにねてくれてありがとうございます。いつもわらわせてくれてありがとうございます。

わたしは、かぞくみんながだいすきです。

お母さんと妹につたえたいこと

志布志小学校三年

お母さんいつもありがとうございます。送りむかえやごはん作り。お母さんのごはんおいしいよ。遊びにつれて行って帰ってきて、遊んでくれてうれしいよ。ぼくはお母さんのこと大好きだよ。

お母さんのおなかの中に、妹の「ひより」が来てくれたあつという間に十か月たって、ひよりがおなかの中から生まれてきてくれた。オムツ交かんやミルクのませは大へんで毎日いそがしい。だけどひよりがかわいいと思う。ぼくがミルクをのませ、のみ終わったらねてしまう時もある。それを見て、おなかいっぱいなんだなと思う。ひよりが生まれて一か月たった。ぼくはひよりを育てることがすきだ。ひより、生まれてきてくれて、ありがとうございます。大好きだよ、ひより、お母さん。

大好きなおにいちちゃんといもうと

香月小学校二年

いつもやさしいおにいちちゃん。わたしがすきなテレビをつけてくれたり、いっしょにあそんでくれたり、おいしいオムライスを作ってくれたりしてくれてありがとうございます。こんどは、わたしが、オムライス作ってあげたいな。

いつもかわいい、いもうとは、まだ赤ちゃん。わたしがにこにこわらったら、いもうともわらってくれる。そのにこにこがおが大好き。わたしのいもうとに生まれてくれてありがとう。

大きくなっても、三人なかよしでいようね。

## 大好きな二人の妹

香月小学校五年

いつもかわいくて、元気をくれるぼくの二人の妹。一人目の妹は、二年生。ぼくが三才の頃からずっと一しよ。ちよつといたずらっぽ性格だけど、ずっと元気でぼくも一しよに元気になるよ。ぼくも、負けなくらい元気でいたいな。二人目の妹は、まだ一才になったばかり。泣くことも多いけど、同じくらい笑ってる。この笑顔がかわいくて、これにも元気をもらっている。ぼくが、もつと笑わせてあげたいな。こんなふうに、ぼくはいつも二人のかわいい妹に元気をもらっている。

二人とも、生まれてきてくれてありがとう。大好きだよ。今度はぼくが元気をあげたいな。

## おじいちゃん、おばあちゃんへ

安楽小学校二年

わたしには、四人のおじいちゃん、おばあちゃんがあります。わたしがかぜをひいたときに、おばあちゃんの家に、よくあずけられます。そのときに、わたしがすきな食べ物もをよういしてくれるので、かぜをひいているのをわすれてうれしい気持ちになります。

わたしが休みの日には、水ぞくかんや、どうぶつ園など、どきどきするところにつれて行ってくれます。

高れいしやのうんでんするじこを見るたびに、ふあんな気もちになることがあるけど、いつまでも、元気で、けんこうで、長生きしてほしいです。いつもありがとう。

## わたしのおじいちゃん

安楽小学校三年

じいじは、走るのがとくいで、わたしの走るすがたを見ると、アドバイスをくれたり、はげましてくれたりしたね。歌うのも好きで、よくいっしよに歌ったね。

今年は、はつぼんだったから、たくさんの食べ物を用意して、じいじの好きだったしよちゆうもじゅんびしたよ。たくさんの人がじいじに会いに来てくれたよ。

わたしは、「じいじに会いたいな。」って気持ちになったよ。わたしがじいじのしやしんに話しかけると、ばあばが、

「返事はないけど、じいじは聞いているよ。」

と言っていたよ。わたしの話、じいじに聞こえていたらうれしいな。じいじともつと遊んだり、いろんなことを教えてもらったりしたかったな。だから、「また、来年のおぼんに、帰ってきてね。」

## ぼくのひいおじいちゃん

安楽小学校五年

毎年、夏休みは兄とひいおじいちゃんに会いに行きます。鹿児島弁でたくさん話をしてくれます。分からない鹿児島弁は聞き直すと優しく教えてくれます。ぼくたちが手伝いをする時、おこづかいといって百円玉をくれます。その百円玉がいつぱいたまってきました。一枚一枚にひいおじいちゃんのおじいちゃんを感じます。ぼくの宝物です。でも、もう百円玉は増えません。大好きなひいおじいちゃん、今年の夏、天国へ旅立ちました。ぼくが大きくなったとき、ひいおじいちゃんに会いに墓参りをして、百円玉の思い出を語り合いたいと思います。そして、人は必ず死ぬからこそ、生きている今を大切にしたいと思います。ひいおじいちゃんのこととは絶対に忘れません。

## 三人のお兄ちゃんへ

田之浦小学校三年

わたしには、高校生、中学生、小学六年生の三人のお兄ちゃんがあります。高校生のお兄ちゃんはとてもピアノが上手で、ときどきおもしろいことを言ってわらわせてくれます。中学生のお兄ちゃんはバスケットが上手で、わたしにもドリブルやシュートのしかたを教えてくださいました。小学校六年生のお兄ちゃんは、いつも、学校での係活動や一、二年生のめんどうを見たり、さい高学年として学校のためにたくさんがんばってくれたりしています。お兄ちゃんが三人もいるおかげで、毎日わたしは楽しく、元気にすごせています。これからもずっと、わたしと仲良くしてね。いつも、ありがとう。

## これからもよろしくね

伊崎田小学校四年

ばあちゃん。いつもおかしやアイスを買ってくれてありがとう。たまに、めいわくをかけてしまうこともあるけど、やさしく注意してくれてありがとう。

とまりに行ったとき、おいしいごはんやあたたかいお風呂をじゅんびしてくれてありがとう。

これからも、畑しごとやお皿あらいななど、手伝えることがあったら手伝います。これからも、よろしくおねがいします。

おそらにいるまあちゃんへ

有明小学校一年

まあちゃんは、ぼくのおばあちゃんです。きよねんの11がつにびょうきでおそらにいきました。まあちゃんはいつもやさしくて、ぼくたちがだいすきなからあげをたくさんつくってくれました。まあちゃんをつくるからあげがだいすきです。まあちゃん、これからbenきようやりくじようをがんばるから、おそらからみていてね。ずっとだいすきだよ。

かぞくだいすき

有明小学校二年

ぼくが、だいすきをつたえたいいせつなひとは、かぞくです。  
ぼくのかぞくは、やさしくてえがおがたくさんのおもしろいかぞくです。  
けんかしたり、おこられたりすることもあるので、しようじきちよつといやなきもちになることもあるけど、それでもかぞくがだいすきだとおもうのは、たいせつにそだててもらっているとおもうからです。  
これからも、かぞくみんなであわせにすごしていきたいです。

おばあちゃんへ

有明小学校三年

ぼくのおばあちゃんは、野さい作りの名人です。いつもたくさんのおいしそうな野さいを作っています。ぼくのおすすめはオクラです。肉まきにして食べるとほっぺがおちそうなくらいおいしいです。おばあちゃん、いつもおいしいお野さいありますか。これからも元気においしいお野さいつくってね。たまにはおてつだいするね。

おじいちゃん

有明小学校五年

わたしの、おじいちゃんはとつてもやさしいです。おじいちゃんは、おかしやアイス、いろいろなものを買ってくれます。わたしの家に来たときは、自てん車の練習やドッジボール、かけっこをいっしょにしてくれます。  
元気にすごして長生きしてください。大好きおじいちゃん。

## 祖父への感謝

有明小学校六年

今、日本は、お米が少なく、新米でなく、びちく米を食べないといけない国になっていきます。しかし、ぼくは、祖父のおかげでびちく米を食べないでいいことになっています。それは、祖父がお米を作っているからです。祖父のおかげで、ぼくや、父、母は、びちく米を食べません。ぼくは、本当に祖父に感謝しています。そこで、ぼくは今度祖父の家に行った時は、畑仕事や家事を手伝ってあげようと思いました。祖父は、毎日ほとんど畑や、田んぼの仕事をいっぱいしているので、熱中症が心配です。祖父は、祖母が亡くなってからずっと一人なので、たまに泊まりに行ったりしています。これからお米を作ってくれると思うので、祖父への感謝の気持ちを伝えたいです。

## 父、母、お兄ちゃん、おねえちゃんへ

通山小学校六年

いつもありがとうございます。母は、いつもずっとエレクトーンの練習につきそい、悪いところを教えてくださいます。そのおかげで少しずつ上手になれた気がします。父は、いつも私のわがままを聞いてくれて、好きな物を買ってくれます。お兄ちゃんは、私の好きな物を買ってくれました。そして、もう一人のお兄ちゃんは、私が小さいころから遊んでくれました。おねえちゃんは、けんかをいっぱいしてしまっただけ、いつも遊んでくれました。そんな家族が、私は大好きです。いつまでも私の成長を見守っていてください。

## うれしいおむかえ

原田小学校一年

おばあちゃん、いつもむかえにきてくれてありがとうございます。おばあちゃんが、おかえりといってくれと、うれしいです。くるまのなかで「きょう、がっこうたのしかった？」ときいてくれます。ぼくはうれしくて、がっこうのことをいっぱいしゃべります。おばあちゃんは、ニコニコして、はなしをきいてくれます。おばあちゃんがたくさんしゃべってくれることもあります。これからおばあちゃんといっしょにしゃべりたいです。

弟がかわいいってつたえなきや

山重小学校三年

二月にぼくの弟が産まれた。すごく小さくて、かわいかった。手や足、ほっぺはふわふわしていて、気持ちがいいので、いつも触ってしまふ。よく笑うようになってきて、ますますかわいい。夜ねる前は、抱っこしたり笑わせたり、毎日楽しい。これから、ごはんを食べ始めたり、ハイハイしたり歩いたり、おしゃべりをしたり、とてもたのしみだ。そして、絵本をよんであげたい。おもちゃをえらんであげたい。しゅうがく旅行に行ったら、ぜったいお土産を買ってきてあげたい。今年と一緒にプールに入れなかったから、来年は一緒に入りたい。一番は、一緒にスイッチでゲームがしたい。

祖母孝行

松山中学校二年

私には自慢の祖母がいます。学校まで迎えにきてくれて、面白い話もしてくれまふ。ときどき、とても美味しい料理を作って食べさせてくれます。私が熱を出したときには、一日看病してくれました。祖母にはいつもお世話になっています。「祖母孝行よろしくね。」

冗談か本気が分からないけれど、私は本気です。今は、してもらってばかりだけれど大人になったら、たくさん祖母孝行をしていきたいです。

祖父の姿

松山中学校三年

私の祖父はとても元気でいつも明るく、誰とでも仲良くなれる人だ。そんな元気がいっぱいだった祖父は、病気になる手術をした。手術は成功したが、その後、容体が悪化し、寝たきりの状態になったのは、昨年12月頃のことだ。元気だった祖父が酸素マスクをつけているのを見るととても現実ではないように思えた。「大切な人がいなくなるかもしれない」と思うとそれまでの後悔が思い浮かんできた。明日が必ず来るとは限らないと実感した。

今では奇跡的に回復し、笑顔を見せてくれるようになった。沢山の人が見舞いに来て、祖父の人望の厚さが分かった。元気な祖父、痛々しい祖父、愛されている祖父。沢山の姿を見たからこそ私は明日を大切に生きたい。

いつも支えてくれてありがとう

有明中学校一年

私がいいつも困っている時に唯一支えてくれる存在が家族です。

お母さんは、いつもおいしいごはんを作ってくれてありがとう。

いつも仕事から帰ってきて疲れている中、ご飯を作ったり、制服を洗ったりしてくれてありがとう。

お父さんは、中学校に入って部活を始めた時に、家での練習に付き添ってくれてありがとう。おかげで部活で良いプレーが出来るようになりました。

お兄ちゃんは、家で勉強をしていて分からないときに教えてくれてありがとう。このように私はたくさんの人に支えられています。

ありがとう

有明中学校一年

私は、いつも「ありがとう」と言うことを心がけています。この、「ありがとう」と言うことを心がけようと思ったのには、理由があります。その理由は、いつも私の母が「ありがとう」と言っているのを見て、いつもこんなことをすぐ言えるような大人になりたいと思ったからです。この「ありがとう」を言うと、言われたほうも言ったほうも、うれしい気持ちになると思っています。そんな、「ありがとう」をいつも言おうと思うきっかけをつくってくれた、お母さん、ありがとう。

いつもありがとう

有明中学校一年

おじいちゃん、毎年暑いのお米を作ってくれてありがとう。今年も、雨があまり降らなくて田んぼがカラカラで美味しいお米が出来るか心配だったけど、美味しいお米が出来て良かったね。今年も熱中症になって一緒に病院に行ったことを覚えていよ。これからも体に気をつけて頑張っね。

いつも本当にありがとう

有明中学校一年

いつも習い事に送ってくれたり、たまに昼ご飯を作ってくれたりしてくれて『ありがとう。』いつもあんまり伝えられないけれど本当に『ありがとう。』私はそんなばあばが大好きだよ。これからも元気で、健康でいつも明るくばあばでいてね。じいじがいなくてさみしいと思うけれど、その分私たちがばあばに会いに行くからね。

いつもありがとう

有明中学校一年

私のおばあちゃんは、お兄ちゃんが転校することになって、大変だろうと思い、わざわざ家まで来て、家事などを手伝ってくれました。大好きなおばあちゃんと一緒にいられると思うととっても嬉しくなりました。でも毎日怒られて、だんだんおばあちゃんが嫌いになっていきました。

一昨年の夏休み、おばあちゃんが帰る前日、私は心の中では喜んでいました。おばあちゃんに話しかけられても冷たく返すと、「最後までいちゃんとしなさいよ」と突然怒鳴られました。

おばあちゃん、家事をしてくれてありがとう。私たちのために来てくれたのに、何もできなくてごめんね。大好きだよ。

言いたかった感謝の気持ち

有明中学校一年

「いつもありがとう。」私は最近、亡くなったじいじに、「いつもありがとう」と言っておきたかった出来事が沢山あることに気づきました。例えば、熱で学校を早退したときに迎えに来て、私が「家に送ってくれてありがとう。帰ってもいいよ」と言ったことがありました。その時に、じいじは、「心配だから居とくよ」と言って、部屋の隣にずっと座っていてくれました。そのときは辛くて感謝の気持ちを伝えられませんでした。でも、今言いたい。じいじ、本当に本当にありがとう。じいじがくれた優しさは、これからも忘れません。

大好きなおじいちゃんおばあちゃんへ

宇都中学校一年

私の祖父母は、帰りが遅い父母に代わってよく面倒を見てくれました。

私の祖父は、少し口うるさいですが私達孫のためになんでもしてくれる人です。

祖母は、いつも優しくなんでも面白くしゃやいます。

平日、私が学校から疲れて帰ってきてても、祖父母と話すとき自然と笑顔がこぼれます。

今までおじいちゃんおばあちゃんには、伝えきれないくらいの感謝をもらいました。

おじいちゃん、おばあちゃんいつもありがとう。まだまだ長生きして楽しい思い出たくさん作ろうね。大好きだよ。

## ぼくの心の支え

伊崎田中学校一年

「今日もよろしくお願いします。」お母さんが夜勤の日、おじいちゃんとおばあちゃんの家泊まる時に、ぼくがいつも言う言葉です。おじいちゃんとおばあちゃんには、そう言ったら、にっこり笑って「はあい。」と言ってくれます。他にもおじいちゃんや野球が好きだから、いっしょに野球をテレビで見ることもあります。その次の日の新聞のスポーツ覧も一番に見せてくれて、とってもやさしいです。おばあちゃんや、料理がすっごく上手です。ぼくは、おばあちゃんの作る料理の中では、目玉焼きが大好きです。おばあちゃんに「おいしい!!」と言えば、「ありがとう」とにっこり笑ってくれます。他にも、二人にはたくさんやさしいところがあります。ぼくはこんなおじいちゃんとおばあちゃんが大好きです。

## 妹へ

尚志館高校一年

いつもごめんね。妹は、いつもすごくわがままでうるさくて短気だから、私はそれに対していつも怒っているね。でも、妹は私がどんなに怒ったり嫌な気持ちにさせても、私のことを尊敬してくれたり、甘えてくれたり、ほめてくれたりしているね。それが私にとっては、とても嬉しくて、自分のモチベーションを上げてくれます。普段は、恥ずかしくて言えないけど、部活に一生懸命で努力している妹はすごくかっこいい。それに、私にはできないことが妹にはできていてそれはすごくうらやましいです。少しわがままなところも実は可愛いなと思います。私は、そんな妹が大好きです。私はあなたの姉になれてよかったと思っています。いつも本当にありがとう。

## 何気ない幸せ

尚志館高校二年

家族五人で何気なく過ごす時ほど、幸せな時はない。いつもおいしい母の手料理と父が完璧に揚げた揚げ物が並ぶ食卓に五人座って談笑しながら、ご飯を食べる。ありふれた日常が僕にとつての最大の癒しである。しかし、こうした週末を過ごせるのもあと少し。一年半と経てば家を出る時がやってくる。だからこそ、当たり前な日常を大切にしたい。どんな苦境に立っていても側にいてくれる母と父、妹、弟に溢れるほどの感謝を伝えたい。そして、今までにもらったたくさんさんの愛情をこれからの人生の全てを懸けて返していけるよう、精一杯生きていく。

## 大好きな姉へ

尚志館高校二年

いつも私の相談にのってくれたり、ご飯を作ってくれたりしてくれてありがとう。私にできないことをなんでも出来てしまう姉がうらやましくて、頼もしくて、大好きです。よくけんかをしてお互いに言い合うこともあるけれど、怒りながらも私を助けてくれる優しさにいつも助けられています。

来年は県外の大学へ進学するため、離ればなれになります。考えるだけで悲しくて辛いけれど、姉に心配をかけないように笑顔で過ごせるように頑張ります。いつでも明るくて優しく強い姉は、私の自慢の姉で憧れの人です。いつまでも幸せで楽しく過ごせることを願って応援しています。

## 絆

尚志館高校三年

私には、一つ上の姉がいる。姉は鹿児島を出て愛知でファッションについて学んでいる。小さい頃から私は姉の後をついていく子だった。私が泣いているとなくさめてくれる優しい姉。そんな姉とずっと一緒にいれると思っていた。今年の春、姉は自分の夢に向かって愛知へと旅だった。距離ははなれてしまったが心はずっと繋がっていると思う。よく連絡をくれるからだ。私が悩んでいたときには、鹿児島に帰ってきてくれる。姉は昔から変わっていない。そんな姉の夢が叶うように私は応援したい。姉妹それぞれの夢に向かって進んでいくが、この関係が変わらないことを望んでいる。

先生へ

## 今のわたしの担任の先生

松山小学校五年

先生は、わたしたちに出す宿題の量が多い時と少ない時がある。それには理由がきちんとある。おこる時はもちろんおこる、わらう時はたくさんわらう、そこがとってもはつきりしている。先生はふつうという表情の時間があまりない。

授業を分かりやすく教えてくれたり、分からなかった問題は、細かく教えてくれたりしてくれてありがとうございます。

## 先生へ

尾野見小学校五年

いつも、私たちに勉強を教えてくださいありがとうございます。そんなに勉強はすきではないけど、わかるようにがんばります。とてもおもしろくて、元気な先生でいつも笑っている先生が大好きです。夏休みの勉強会でいろいろ分からないことも教えてくれて、ありがとうございます。とくいなこと、上手にできたことをほめてくれます。けど少しこわい一面もあります。でも先生ならこのクラスをまとめられると思います。先生ありがとうございます。大好きです。

## がんばっているな先生

志布志小学校四年

わたしのたんじんの先生は、まだ先生になったばかりです。けれども、毎日がんばっているし、おもしろくじゆ業を進めてくれます。そんな先生のがんばっているところを毎日見ていると、元気が出ます。学校に行くと、元気に、「おはようございます。」とえがおでいってくれるので、わたしたちのクラスがえがおいっぱいになります。少しおこられたりしますが、これからもささえあって一年間えがおですごしたいです。そしてわたしたちのクラスのいいところをもっと見つけたいです。

いつもえがおにしてくれて本当にありがとうございます。

## 大切な先生

志布志小学校五年

わたしは、五年生になってから、トイレのスリッパを並べています。四年生のときは全然トイレのスリッパを並べようとしたこともなかったのに、五年生になってからトイレのスリッパを並べようと思えました。今は、友だちと二人でいっしょにきれいに並べています。それは、たんにんの先生がわたしたちをしつかり育ててくれているから、わたしは、学校のため自分のため、みんなのためにいろんなことを学んだり、一生けん命勉強をしています。とても今の担任の先生に感謝しています。わたしは、五年生になって自分がとても変わりました。いろいろなことができるようになっているし、いろいろなことに挑戦している自分がとても大好きです。

## 大好きな先生

香月小学校四年

わたしは、二年生のときにこっせつをしてしまいました。そしてそのときから学校に行きたくなくなりました。毎日行きたくない日が続いてしまいました。

三年生になり新学期が始まりました。わたしたちの先生は、新しく来た先生でした。その先生は、運動しんけいがよくて、やさしくて、おもしろくて、勉強もわかりやすく教えてくれたので成績もよくなりました。

先生のおかげで、学校に行くのが楽しみになりました。

その先生は、今はちがう学校にいるけれど、まだわたしは先生のことをわすれていません。

また、この学校に帰って来れたら帰ってきてください。

## やさしくておもしろい校長先生

潤ヶ野小学校三年

いつも、学校をささえてくれてありがとうございます。朝、歩いてくる時にいつも、「おはようございます。」と声をかけてくれて元気が出ます。担任の先生が休みの時、チャレンジの時に、分らないところを教えてください、丸つけをしてくださいました。わたしたちがきゅう食を食べている時に、昼休みに安全に遊べるように、てんけんをしてくれます。校長先生は、わたしたちに、うるが野シールをくばってくださいました。かわいしいし、明るくてうるが野らしいなと思います。わたしは、れんらくぶくろにはって、大事にしています。「ちよつとななめにはったらいいよ。」と言っておもしろかったです。これからも、やさしくておもしろい校長先生でいてください。

先生ありがとう

安楽小学校四年

先生、いつもていねいにじゅ業を教えてくださいありがとうございます。

いつも学校にのこって、じゅ業のプリントや、めあてとまとめをぼくたちのために考えてじゅんびしていると思います。そして、じゅ業の時にも、分かりやすく教えてください。くださり、感しゃしています。

ぼくたちも先生たちをこまらせないようにするので、これからもよろしくおねがいします。

ほけん室の先生へ

有明小学校二年

いつもわたしのことを「ひめ」とよんでくれてありがとうございます。けがをしたときにもやさしくしてくれてうれいす。先生が「今日もここにこだね。」っていうとわたしも元気になります。にここにできないとき、しんばいしてくれてありがとうございます。先生がいるから学校がたのしいです。わたしも、先生みたいにやさしくえがおがいっぱいの人になりたいです。これからもよろしくおねがいします。

つみかさね

尚志館高校二年

私は、中学三年生時の担任の先生から頂いた言葉を、これからの人生で大切にしようと思いました。その言葉は「つみかさね」です。

人生とは、いろいろな人といろいろな仕事や事業に取り組み、物事をより良くするために日々、努めていくものです。その中で自分の人生をより良くするためには経験が大切だと思います。人生とは人と人との出会いのつみかさね、失敗しても成功のためにより一歩一歩、前進していくつみかさね。そういったいろいろなつみかさねの連続が自分自身のこれからの成長に繋がると思います。

これからの自分の人生を選んでいく、歩んでいくための大切なつみかさねという言葉を中心に刻み、これからも挑戦していきたいです。

保護者から

地域の方から

## 松山FCファミリーへ

泰野小学校保護者

私は、地域の子ども達にサッカーを教えています。早いもので二十年が経ちました。最近では、教え子の子どもが入部してくれたり町外や、市外からの入部もあつたりで楽しくやっています。

ここまで来られたのも保護者の協力や、チームスタッフの協力があつたからだと思います。そして何よりも家族の支えと理解があつた事が大きいと思います。感謝しています。

これからもサッカーを通じて子ども達と一緒に成長していけたら嬉しいです。松山FCファミリーの皆さんこれからもよろしくお願いします。

## 地域の皆さまへ

泰野小学校保護者

いつも子どもたちのことを見守っていただき、本当にありがとうございます。レンゲ畑や青空を泳ぐ鯉のぼり、かかしロードの風景など、季節を感じながら歩ける通学路は子どもたちの楽しみになっています。

また、米作りなどの体験をさせてもらえることも、子どもたちにとって大切な思い出になっています。毎朝の登校の見守りもとてもありがたいがたく安心して学校に行かせることができています。

地域の皆さまのおかげで、子どもたちは元気に過ごせています。いつもありがとうございます。そして、これからもよろしくお願いします。

## マリーゴールド

潤ヶ野小学校校区住民

この日は、夕方七時からコミュニティ協議会の例会が行われることになっていた。会が始まるやいなや、まだ明るい山あいには、けたたましいサイレンの音が響き渡ってきた。救急車が何だったのか気になりながら例会を終え、従妹に携帯を入れると、さつきまで田んぼにいたY兄やんが運ばれたとのことだった。

人の命はなんと儂いものか。家族の願いも叶わず、Y兄やんは、天国に旅立って行った。お通夜の返礼ハガキには、家族への愛と想い出が記されていた。

一昨年秋、旧中学校の花壇一面にマリーゴールドが咲き誇っていた。今年も、植えてある。Y兄やんのマリーゴールドだ。Y兄やんの田んぼは、黒南風に早苗がそよいでいた。

「ありがとう」が広がる世界

安楽小学校保護者

子どもたちが毎日笑顔で過ごし、「明日も楽しみ」と話してくれる日々が、どれほど幸せなことかを感じます。そんな当たり前に思える毎日も、たくさんの人たちの願いや努力によって守られてきたのだと思うと、あらためてありがたさを感じます。だからこそ、これからも子どもたちが安心して過ごし、夢を語る未来を大切にしたいと思います。「ありがとう」や優しい声かけが広がっていくことで、きっと平和はつながっていくはず。

子どもたちと一緒に、日々の中にある温かさや思いやりを大切にしながら、これからもみんなが笑顔で過ごせる世界を育んでいきたいと思えます。

大好きな娘へ

有明小学校保護者

あなたが生まれてくる前、おなかの中で、大きなトラブルが2回もありました。ちゃんと生まれてくるのか、毎日不安で押しつぶされそうでしたが、元気に生まれてきてくれました。お母さんの一生で一番うれしいことです。私をお母さんにしてくれてありがとう。何があっても、お母さんはあなたの味方です。あなたが立派に成長するまで、お母さんはがんばります。大好きだよ。

あなたがいてくれたから

有明小学校保護者

あの日、突然の事故で意識を失っていた私のもとに、すぐに駆けつけてくれたあなた。

目を覚ました時、スマホにはたくさんのLINE。涙が止まりませんでした。

「生きていてくれればそれでいい」

めげそうになった入院中、この言葉に何度も救われました。

子供たちの前では父親として懸命に踏ん張りながら、実は眠れず食べられず、何度も泣いていたと知った時、胸が締めつけられました。

退院の日、車のトランクに忍ばせてくれていた花束。「退院おめでとう」の言葉と共に、あなたの深い優しさと愛情を感じました。

あなたがいてくれたから、私は今も笑って過ごせています。本当にありがとう。これからも、共に歩いていこうね。

みんながっついていい

山重小学校保護者

家族で行った旅行のテーマパークの待ち時間で、外国の方に「HELLO」って積極的にコミュニケーションを取ろうとしていたのに、すごく感動しました。その後も会話を重ねて待ち長い時間も、ほっこりした時間になったね。

周りは外国の方も多く、彼なりにいろいろと感ずることがあったと思います。できなくてもいいから、興味を持ったことには何事も挑戦し、困っている人がいれば助けあげられる人になってほしいと思います。

私たち親も、少しでも子供が興味や関心を持つきっかけを与えられる人間になれたらと思います。

いつもありがとう

山重小学校保護者

仕事から疲れて帰ってくると『ママお疲れ様』って、出迎えてくれる娘。

その言葉で一日の疲れが吹っ飛びます。

あなたたちがいるから、パパもママは頑張れます。

あなたたちが元気で笑顔でいてくれることが一番です。

あなたたちの成長が一番嬉しいです。

あなたたちのそばで、ずっと見守っているからね。

いつも元気をくれてありがとう。

地域の方へ

夢や目標

友人へ

## ピアノの先生いつもありがとう

泰野小学校四年

わたしは、いつも木曜日にピアノの教室に通っています。ピアノがある日は、今日もがんばろうと思います。先生といっしょにピアノをしていると、とても楽しくなります。わたしがまちがえたときは、「だいじょうぶ。ゆっくりでいいからね。」と声をかけてくれます。わたしは、次もがんばろうと思います。わたしは、先生にピアノを教えてもらって、とてもうれいいます。家で練習しているときは、先生がとなりにいると思つて、いつもピアノをしています。わたしがうまくひけたらほめてくれます。わたしはとてもうれいいます。毎日あきらめないでピアノをやりたいです。ピアノの先生いつも本当にありがとう。

## 小さなころからの友人へ

泰野小学校五年

ぼくは、保育園のころからの友達があります。ぼくは、その友達のやさしくて、おもしろいところがそんけいできます。

ぼくが保育園の園児だったころ、その友達のいる保育園に入園しました。そして、ぼくが入園して一年ほどのころには、もう友達だった記おくがあります。その友達は、だれよりも早く、やさしく話しかけてくれます。そして、今も、たくさんの友達をつくつて、人気者のようなそんざいになっています。

ぼくは、その世界に何人いるかも分からないほどやさしくて、おもしろい友達をそんけいしています。ぼくは、そんな友達をつくれてよかったと思っています。

## 地域の方への感謝

泰野小学校六年

地域の方々は朝早く登校を見守ってくださいだったり、行事のときには準備を手伝ってくださいだったりします。特に登下校の見守りは、毎日休むことなく、暑い日も寒い日も雨が降っているときも見守ってくださいます。おかげでぼくたちは安心して、安全に登校することができます。また地域の方々はとてもやさしくて、「おはようございます」と言うと、「がんばつてね。」などの言葉をかけてくれます。そのおかげで、一日をがんばることができます。見守りや行事の準備ありがとうございます。ぼくも大人になったら登校を見守つて、そのときの子どもたちに声かけをして、地域に恩返しをしていきたいです。

## みんなの安全を守る人

志布志小学校五年

私はそんけいしている人がいます。それは、ちゅう車場の横断歩道に毎日立って、みんなの安全を守ってくれる、かみ切り屋さんをしている、おのうえさんです。おのうえさんはいつも、私たちが安全に登校できるように見守ってくれています。落ちこんでいたら、「もう給食の時間だよ」とじよう談を言つて、ツツコミを入れたくなるくらい元気になります。おのうえさんは、私が四年生のころ、保健の先生になるための研修で、来たもね先生のおじいちゃんです。いつも、「ももちゃんはねえ」と話してくれて嬉しいです。おのうえさんのような人が増えたらいいと思います。

### あこがれの先ばい

志布志小学校六年

私は今、剣道をやっています。同じ武道館から樟南高校へ行つたあこがれの先ばいがあります。その先ばいは全国大会で優勝しているほどとても強いです。先ばいは強いだけでなく、やさしくて、人に対する思いやりがあります。そんな先ばいと、けいこのときは、いつもいろいろなことを教えてくれます。試合で負けたときも、「次は絶対に勝ちたい」という気持ちをもたせてくれるのは、先ばいのおかげです。先ばいにはこれからもたくさんはげましてもらうと思うので、今までもこれからもたくさん感謝の気持ちを伝えたいと思います。

### 見守ってくださいる地域の方々へ

志布志小学校六年

いつも朝私が登校するときに、ちゅう車場や横断歩道や通学路に立ってください、安全にわたれるように、ゆうどうしてくださいる地域の方々や、ボランティアの方々、本当に、どうもありがとうございます。雨の日も風の日も私たちのために休まず、いつもの場所に立ってくださいるので、私も安心して登校ができます。朝早くから大変だけど、私は、とてもほこりに思っていて、とても感謝しています。本当にいつもありがとうございます。残り少ない小学校生活ですが、これからも見守りよろしくおねがいます。

### カブトムシのカブリー

香月小学校三年

ぼくは、東京にすんでいたころ、ようちゅうから大事にかつていたカブトムシがいきました。それがカブリーです。七月にせい虫になったカブリーは、なんと十二月まで生きました。

ぼくは、十二月にかごしまにひっこすことがきまっていました。かごしまからおく

られてきたカブリーといっしょに、かごしまに行くのをたのしみにしていたのに、しんでしまいました。かぞくぜんいんでたくさんたくさんなきました。どんなにねがっても、生きかえらないのちがあることをはじめてしりました。「カブリーみじかいあいだだったけどいっしょにいてくれてありがとう。」  
ぼくは、おとなになってもぜったいわすれません。

本の楽しさを教えてくれてありがとう

香月小学校三年

わたしは三年生になって、わからない言葉や漢字が多くなってきたので、国語じてんや本を読むことがふえました。よく行くのは、学校の図書室や、家の近くの図書館です。図書室の先生や図書館の人が、話を聞いてくれたり、話しかけてくれたりしてくれることが、うれしいです。わたしは、「パンどろぼう」など、子どもらしい本もすきだし、むずかしい本も大すきです。そして、わたしは、図書室の先生や図書館の人たちがしてくれる読みかさが、一番大すきです。また読み聞かせを聞きたいです。いつもわたしたちのために本の楽しさを教えてくれてありがとう。ございます。

大好きないとへ

香月小学校六年

私は、あなたのことがとても大好きだよ。前、私のエレクトーン大会に来てくれたとき、お母さん達には、「好かん」って言うけど、私には「好き」って言ってくれて、とてもうれしいよ。私はあなたに会うと、かわいくていやされます。まだ二才の小さくてかわいいあなた、ずっと私を忘れないでね。笑ってるあなたの笑顔、とってもすきだね。これからも、たくさん、ママ、パパ、おねえちゃん、私ともいっしょに楽しい毎日を過ごそうね。私はあなたが生まれてきてくれて、幸せです。誕生日プレゼントを渡したときに、喜んでくれてうれしかったよ。これからも、元気に保育園に行つてね。たくさん会って、たくさん遊ぼうね。あなたのことが、とても大好きだよ。

私の希望

香月小学校六年

私には、共にたたかう仲間がいます。私は三年生からバレーボールを始めました。分らないことだらけだった私は、まともに友達もできませんでした。私だけ別の小学校だったからです。でも一緒にプレーをしていくうちに仲良くなることができました。私と仲良くしてくれた仲間が大好きです。今では、みんなの気持ちの一つになつて優勝をつかみとることができました。うれしくて夢かと思えました。厳しい練習にたえ、できない自分に落ちこみ、でも信じてくれた仲間がいたからこそあきらめずにがんばれたと思います。私のことを助けてくれたからこそ私も仲間を信じて助けたい

と思いました。今だから伝えたい、「みんなと出会えて、私は後悔なんてない。」

### やまびこ会のみなさんへ

潤ヶ野小学校三年

いもほりやグラウンドゴルフなど、さまざまなことやり方を教えてくれてありがとうございます。運動会でおうえんしてくれてありがとうございます。

やまびこ会はこの前、全国ひょうしょうを受けられました。すごいと思います。わたしたちもいっしょに花植えをしたり、さつまいもの栽培をしたりしたので、とてもうれしくなりました。十一月には、ふれあいかつどうで、昔のあそびとグラウンドゴルフをします。たのしみです。

これからもわたしたちといっしょに活動をしてほしいです。やまびこ会のみなさん、ありがとうございます。

### いつもありがとう

安楽小学校四年

ぼくは友達に、ありがとうと伝えたいです。ぼくの友達は、いつも遊んでくれたり、困っているときに助けてくれたりします。その友達とは、よく昼休みに遊びます。鬼ごっこやサッカーをして遊んでいるときにぼくが転ぶと、「大丈夫。」と声をかけてくれます。サッカーの試合では、ミスしても「きりかえろ。」や「ナイスプレー。」と声をかけてくれます。ぼくのモチベーションが下がらないように、とてもいいタイミングで声をかけてくれるので、うれしいです。ぼくも、その友達のように、周りの人を助けられる人になりたいと思います。ぼくのじまんできる友達です。いつもありがとう。

### 毎日元気で笑顔をくれる人

安楽小学校六年

私が学校に行くとき中にもいつも、「おはようさん。」と笑顔であいさつをしてくれる、地域の方がいます。私は、笑顔であいさつをしてくれると元気をもらえたり、今日もがんばろうと思えたりできます。たまに、少しおしゃべりをして学校に行くこともあります。話している時は気持ちが悪く落ち着きます。話が終わると「いってらっしゃい。」と言います。私は、「いってきます。」と言います。私も元気をもらった分、元気をあげられるような、あいさつができるようになります。いつも、笑顔と元気をありがとうございます。私も笑顔と元気をあげることができるようになります。そして、これからもよろしくおねがいします。

いつもとなりになってくれる

安楽小学校六年

私の友達は、今、となりでおどっています。いつも私のとなりでおどったり歌ったりして心を明るくしてくれます。ささいなことでもけんかもしますが、いつだってとなりになってくれます。友達のおかげで救われたことは、思い返せば山ほどあります。自分もつらいこと、話したいことがあるはずなのに、私の話をゆう先して笑顔で聞いてくれます。いつも気にしすぎて、なやむことが多いけれど、友達は私にとっていつもとなりで笑わせてくれるかけがえのない存在です。

本当にとなりにいってくれてありがとう。

いつも見守りありがとう

田之浦小学校五年

ぼくが山宮神社に歩いていくと中に、いつもおじいさんが立っています。大雨の日でも絶対かっぱやかさを持って立っています。ときどき休むときもあつたけど、ほぼ毎日信号がない交差点に立っています。ぼくはふしぎに思って、おじいさんに、「なんで、毎日立っているんですか。」と聞いてみました。そしたらおじいさんが、「子どもの安心・安全のために立っているんだ。」と言いました。毎朝ぼくたちのために立ってくれていることは、当たり前ではないことに気づき、ありがたいなと思いました。「いつもぼくたちのためにありがとう。」という言葉を、全国の見守りをしている人に届けたいです。

ゴンゴン、ポーポーいつもありがとう

森山小学校二年

ゴンゴン、ポーポーいつもありがとう。シンガポールからいつもいろいろなものを送ってくれるね。ぼくのほしいものがいっぱいあってうれしい。この前は本当に会うことができてうれしかった。いろんな所につれて行ってくれてありがとう。ユニバーサルスタジオは楽しかった。お父さんとお母さんがジェットコースターに乗って一人になったけど、ゴンゴン、ポーポーがいてくれてこわくなかった。次、日本に来たらいろいろな所に行こうね。

地いきのおじちゃん ありがとう

森山小学校三年

ぼくが毎日学校へ行くと「おはよう。」とむかえてくれる地いきのおじちゃんがいいます。おじちゃんは、ぼくがおうだんほどうを安全にわたれるまで先生たちと見ていてくれます。体ちようが悪くて休むと心ばいしてお父さんにきいたりしています。ぼくがないと心ばいしてくれる人がいるとうれしいです。ぼくのことをおぼえてくれ

ているということと思うから。毎年ここができるようになったとほめてくれることもうれしいです。ぼくもおじちゃんみたいにやさしくなりたいです。

かたのさんへ

森山小学校三年

いつも朝早く学校に来て、僕たちを見守ってくれるちいきのかたのさんという方がいます。タクシーが来て、あいさつを元気にしてくれます。そのおかげで、一日頑張る気持ちになります。後、昔の遊びをおしえてくれます。僕がわるいことをしたらおこってくれます。そして、いいことがあったらいっしょによるこんでくれます。いつも安心して学校にいけるのは、かたのさんのおかげです。いつもありがとうございます。

いつもありがとう

伊崎田小学校四年

Yさん、いつもありがとう。いつもぼくを笑わせてくれて、とても楽しくなります。休み時間や昼休みに、いっしょにボール遊びやブランコをしたり、中学生になってからのことをたくさんお話したりして、とても楽しいです。

Yさんがいると、いつも楽しく思えます。五年生になっても、六年生になっても、いっぱい思い出を作りたいです。Yさんこれからもよろしくね。

ちいきのひとへ

蓬原小学校一年

いつも、しんごうのところをたつてくれてありがとうございます。そのおかげでまいにち、あんぜんにしんごうをわたることが出来ます。あめのひも、かぜがつよいひでもまいにち、たつていてすごいとぼくはおもいます。そしていつもおはようとこえをかけてくれるので、ぼくはとってもうれしいです。ぼくもおはようございますといえるように、がんばります。これからもがんばってください。

## 私の見守りたい

有明小学校四年

私がすんでいる地域には、見守りたいがいます。平日の朝早くから、地域の方たちがおうだん歩道だったり、校門の前で小学生のみんなにあいさつをしたりしています。それは、私たちの安全第一を考え、一つしかない命を、地いきの方たちが守ってくれています。「私も何かおれいにくいことをやらなくちゃ」と思っています。いつも学校に着くと、私は心が気持ちよくなります。なぜなら、地域の方がいつも笑顔で私を学校へ送り出してくれる気がするからです。これからも楽しい学校生活を送っていきたいと思います。

## スクールガードさんへ

有明小学校五年

毎朝、「おはよう。」「今日も早いね。」とやさしく声をかけてくれ、ありがとうございます。おかげで車がたくさん通る時間、横断歩道も安心してわたることができます。スクールガードさんがいるから、学校に行くのが毎日安心して心強いです。いつも見守ってくれて本当にありがとうございます。これからも、安全に気をつけて、みんなのためにがんばってください。ぼくも元気に学校に行けるようにがんばります。これからもよろしくお願いします。

## スクールガードのおじちゃんへ

有明小学校五年

学校が始まると、毎朝学校の交差点で私達の登校を見守ってくれるスクールガードのおじちゃん、いつもありがとうございます。晴れの日も雨の日も、暑い日も寒い日も毎日私達のために朝早くからありがとうございます。おじちゃんのおかげで、毎朝安心して登校できます。

「今日もいってきます。」

## 大好きな友達へ

通山小学校六年

保育園の時からたくさん遊んでいたのに、もう気がつけば六年生になったね。六年生でもあなたと一緒にいれてうれしく思います。でも、中学校で別になる、と思うと

とても悲しくなります。でもあなたは自分のためにがんばってください。私はあなたを応援します。ちがう学校でもあなたは私の大好きな親友です。いつもまわりのためにがんばって一番に動いてくれる優しいあなた。でもたまには私を頼ってください。いつでも私はあなたの味方だよ。ふだんあまり気持ちを伝えられないのでここに書かね。

いつもありがとう。おばあちゃんになっても私の大好きな親友でいてください。大好き。

### 大好きなお友達へ

通山小学校六年

いつもいつしよに遊んでくれてありがとう。あまりけんかはしなかったけど、一回大きなけんかをしたよね。私が体ちようがわるくて保健室で休んでいた時に、おみまいに来てくれたことも何度かあったよね。私は、あなたのやさしくて、たよりになるところが大好きです。

今年で小学校生活最後だから、たくさん思い出作ろうね。私は、あなたと友達でよかったです。これからも、たくさん笑って遊んでいようね。ズーっと、ズーっと、友達だよ。

### かんとく、コーチへ

通山小学校六年

いつも、ぼくにソフトボールを教えてくれてありがとうございます。六年は、一人でぼくをここまで育てあげてくださいありがとうございます。ぼくは、最後の一年だけどこれからもがんばって低学年をひっぱっていきます。試合でも勝てるようにソフトボールを教えてください。練習終わりに、ゼリーをくれたり、ごほうびをくれたりしてありがとうございます。試合も、初勝利のときは、はま寿司をおごってくれてありがとうございます。これからも試合で、六年として、ピッチャーとして悔いのないようがんばります。これからもずっとソフトボールを教えてください。

### みんなのためにも

山重小学校六年

ぼくは、サッカーを習っています。去年の十二月ぐらいにチームを変えました。新しいチームの友達は、すぐにぼくのことを受け入れてくれて、楽しくサッカーができ

ています。前のチームの友達とは、今でもぼくと仲良く遊んでくれてうれしいです。この夏は、全国大会に行きます。人生初の経験です。ぼくは、おそらくデイフェンダーとして出ると思います。シュートを決めて、チームの勝利にこうけんしたいです。家族や選手に選ばれなかったチームメイトのためにも、出場できることに感謝しつつ、結果を残せるようにがんばりたいです。

あこがれの先輩へ

松山中学校一年

一学期からずっと一緒に部活をしていて、その中でも一番、いろいろ教えてくれたり、はげましたりしてくれてありがとうございました。私は最初、何もできなかったけれど、何も言わずに私に教えてくれたり、いろいろなことを話したりしてくれてとてもうれしかったです。今は、家でたくさん練習して、上手に演奏することができるようになりました。夏にあったコンクールで金賞とれたのも優しく教えてくれたおかげです。先輩はもうすぐ受験のため、一緒に演奏する機会が減ってしまうけど、これからもたくさん話して、一緒に楽しい中学校生活を送りたいです。私にとってあこがれの先輩です。

ありがとう

志布志中学校三年

私は、ドラムを習っています。弟と私とドラムの先生と三人で練習しています。ドラムの先生は、私が難しくてたたけないリズムも、できるまで一緒に練習をしてくれたり、できたら少しのことでも「上手だね」「完璧だね」などたくさんほめてくれました。そしていろいろな演奏会にも出させていただいています。今はドラムを辞めてしまったけど、ドラムのレッスンに入ってなかったらできない、いろいろな経験ができました。先生に直接は言えなかったけど、心の底からありがとうと思っています。

ありがとう

有明中学校一年

友達へ

いつもありがとう。いつも話しかけてくれて、笑顔が似合うあなたは、心配になるほど優しすぎるせいで三年以上一緒にいるのに、まだ一回も喧嘩をしたことがないね。私は、少しあなたと喧嘩を試してみたい気持ちがあります。優しすぎるあなただから、嫌なことを相手に伝えられないかもしれないだろうけど、溜めこみすぎ

ず思ったことを言ってほしいな。どんなことでも受け止める自信があるから。あなたのことをもっと知りたいし、ずっと友達でいたいです。これまで、ありがとう。そしてこれからもよろしくね。

ずっとそばにいてくれたあなたへ

有明中学校一年

私は、ずっと一緒にいてくれた幼馴染にずっと伝えたかったことがあります。それは「ありがとう」という気持ちです。

小さいころからいつも一緒に、何をするにもあなたが隣にいました。私が落ちこんでいるときは、何も言わずにそばにいてくれて、うれしいことがあった日は、自分のことのように喜んでくれましたね。そんなあなたの存在に、私は何度も救われました。楽しく笑い合った日々も、何気ない会話も、私にとってはかけがえのない思い出です。今までは恥ずかしくてなかなか言えなかったけれど、心から「ありがとう」を伝えたいです。

これからも変わらず、一緒に笑っていられたらうれしいです。

地域の方々へ

有明中学校一年

僕が小学一年生のとき、横断歩道を渡る時や登下校の時に見守ってくださりありがとうございました。ありがとうございます。

そのおかげで僕がいるのだと思います。これから会う機会が少なくなると思うけど、これからもよろしくお願いします。

大切なチームメイト

宇都中学校二年

私はソフトテニス部に所属している。目標は地区総体団体戦で優勝することだ。地区総体当日、予選リーグは一位で上がり、準決勝も勝ち進んだ。決勝戦一対一で三番手の私たちに回ってきた。私たちが勝てば優勝、負ければ準優勝。そんなプレッシャーの中で、支えになったのは応援だ。一年生は試合には出られないが一生懸命応援してくれた。その気持ちにこたえるため精一杯戦った。最後の一点が決まった。私たちの点数だ。その瞬間私はとても安心した。三年生や親が泣いている姿、一、二年生が喜んでいる姿がとても頭に残った。

優勝できたのはチームメイト皆、応援してくれた人、皆のおかげだなと思った。

平和へのメッセージ

## 私達は戦争を知らない

松山小学校六年

私達は戦争を知らない。八十年前に戦争は終わった。けれど、今戦争を知っている人達から、戦争の悲劇さなどを聞いて、戦争をしないということをごこれからもずっと引きついでいかなければならない。

## 平和と戦争

尾野見小学校四年

今、そう合で平和について学んでいます。私のグループでは、戦争の時の服と食べ物と配給切符を調べています。服は、配給切符で買えます。だけど、一年間に配給切符は百まいなのに服一まいだけで五まいくらい使ってしまいます。戦争の時の食べ物には、カボチャ、さつまいも、米などがありました。でも食べる物が無い時は、ねこ・犬、水鳥などを食べていたそうです。でも今は、お肉やお魚も食べられるようになりました。そしてたくさんさんの服が買えるようになりました。戦争は、食べ物もとても少なく、こわいです。でも今は、平和でよかったですと思いました。もうこれ以上、戦争がおきないような平和な世界にしたいです。

## 日本を守りぬいた人々

尾野見小学校六年

私は戦争が終わって八十年も経っていることがすごいと思います。戦争をしないと決めて八十年もずっと守っている日本はとてもかっこいいです。私は戦争をしているときに生きていたわけではないので戦争のおそろしさも戦争がどれだけの人を苦しめたかも分かりません。でも、戦争を経験した人がいるから今の日本は戦争をしななのだと思います。戦争のことを知れば八十年も戦争しなかった日本を尊敬できると思います。

私はこれからも戦争が起こらない素敵な日本であってほしいです。

## 平和について

尾野見小学校六年

今年は、戦後八十年です。なので、平和について考える事が増えてきました。私は昨年、夏休みの作文で平和について書きました。今までは、平和という言葉に無関心でした。だけど、ニュースや色々な方の話を聞いてみると、くわしく平和について知りたくなりました。戦争を体験した、ひいおばあちゃんに話を聞くと、「通信隊」として連絡を受けていたり、特攻隊のはちまきを作ったりしていました。実際に、戦場に行く人を前に、「行ってほしくないけど、勝ってほしい」という複雑な気持ちがあったそうです。この気持ちになる人がいないような、世の中にしていきたいです。

## せんそうについて

志布志小学校三年

みんなは、せんそうについてどう思っているのでしょうか。今、日本は平和だけどうクライナなどまだ苦しんでいる町もいっぱいあります。「どうしてせんそうを始めたんだらう。」ずっと思っています。

八十年前、広島に原爆くが落とされました。何万というたくさんの方が死にました。わたしは「まっくらなおべんとう」という、広島の前爆くでなくなった男の子の絵本を読みました。その本を読んで、今は平和だけどせんそうで家族、友だち、大切な人がなくなつて悲しい思いをした人が、たくさんいたんだなと思ひました。しあわせや平和をうばう人たちはどう思っているのでしょうか。平和は当たり前じゃないと思ひます。

## 日本兵のみなさま

志布志小学校六年

終戦八十年をむかえた、今年の夏も平和です。この平和があるのは八十年前の日本人たちのおかげです。ぼくがゲームできるのも、おいしい物を食べられるのも、太鼓をたたけるのも、がんばつてくれた人たちのおかげです。八十年前の日本はアメリカとの戦争で苦しみ、生きるのに精一ぱいだったそうです。今の日本は平和で、そんな世の中があつたなんて、うそのようです。昔の日本人たちのおかげで今好きなことができたり食べられたりするので。感謝の気持ちでいっぱいです。その気持ちを忘れずに生きていきたいです。

## えがおのみらいへ

香月小学校四年

わたしは、幸せです。毎日ごはんが食べられて、友達といっしょに遊べて、温かいおふろにつかれて安心してねむる事ができます。でも、ちがう国では、戦争でごはんが少ししか食べられなくて、温かいおふろにつかれないし安心してねむる事がなかなかできない人たちがいます。戦争をしても、何もいい事はありませぬ。おたがいが話しあつたり、ゆずりあつたりする気持ちをもつてほしいです。世界中のみんながえがおになるのをねがっています。

## 平和への願ひ

香月小学校五年

現在世界で起こっている紛争、戦争は絶えませぬ。代表例ではウクライナなどがあげられます。ロシアのしんこう、停戦は本当に実現するかは分かりませぬ。もしも日本が戦争や紛争になつてしまつたら、お父さんは兵になつてしまいます。そんなことになつてしまえば、日本の兵としてかり出される人は大勢出でしまいます。世界の

きな国では、核兵器というとてもおそろしい武器をもっています。広島では、「カクワカ広島」という団体が核兵器をなくそうというすばらしい活動をしています。僕は、戦争や紛争がなくなるということはないと思っています。ですが核兵器をなくしたり、戦争や紛争を少なくしたりすることは可能です。これからは少しでも貢献したいです。

### へいわなせかいに

安楽小学校一年

わたしは、おとうさんやおかあさんと、いもうととねこちゃんと、かぞくでわらっているとうれしくて心がぼかぼかになります。こんなしあわせがつづいたらいいなと思います。なつ休みに、せんそうのテレビを見ました。空からばくだんがふつてきて、たくさんの人がしんでしまいました。「むかし、ほんとうにせんそうがあつたんだよ。」とおかあさんからきいて、かなしくなりました。そのころは、ごはんがすくなかったり、たいせつな人にあえなくなったりして、かなしい思いやこわい思いをした人がたくさんいたそうです。かぞくがわらつてすごせて、ごはんをおなかいっぱいたべられて、みんななかよく、へいわなせかいになってほしいと思います。

### 戦争

安楽小学校四年

わたしは、テレビで、戦争をしているえいぞうを見ました。さいきんでは、イランとイスラエルでした。なぜ、町をこうげきしたり人をくるしめたりするのか、わたしには分かりません。人が戦争で亡くなるのは、とてもつらいです。もしわたしの家族が、あした戦争で亡くなると思うと、むねがくるしくなります。亡くなった人も、まだまだやりたいこともたくさんあつたと思います。なので、わたしは、戦争なんて、この世界からいなくなつてほしいです。みんなが、楽しく平和にくらしていける世界になつてほしいです。

### 平和を願って

伊崎田小学校六年

今年、太平洋戦争が終わつて八十年です。今この日本は、平和や幸せでいっぱいですが、八十年前は違いました。戦争が起きてからたたくさんの人が亡くなりました。本当は生きたいのに、死ななきやいけない人や、平和や幸せを見ていきたいのに死ななきやいけない人など、たたくさんの人たちがいたと思います。これを書きながら今の日本は本当に幸せだと思いました。私は、ちよつとでも感謝の気持ちや幸せの気持ちをもち生きていきたいです。そして、今この平和や幸せが続くことを願っています。

みんなが幸せにくらすために

蓬原小学校四年

わたしは、みんなが幸せにくらせる世の中が続いていつてほしいと思います。わたしにできることは、学校のみんなとなかよくすること、あいさつをすることです。友達がけんかをしているときは、おたがいの話を聞いて、なかなかおりのする方法をいっしょに考えていきたいと思います。

なくなつてほしい戦争

蓬原小学校五年

わたしが戦争を知ったのは、今年から始まった、学校の朝の時間にある平和学習で戦争の話を聞いたことがきっかけです。平和学習で、はじめて知ったことは、広島県と長崎県に原子爆弾を落とされたことです。わたしは、この話を地いきの人や先生から聞いて心がいたくなりしました。そして、もつと戦争について勉強して、戦争がなくなるにはどうしたらいいか考えていきたいです。

みんなで考えよう戦争のこと

原田小学校六年

「ヴィー」

町中にくうしゅう警報がひびいた。みんなが外に飛び出してにげだした。その後には原爆が落ち、たくさんの人が亡くなった、とテレビで見た。原爆にまきこまれて亡くなった人以外に、国のために亡くなった人も多いと思う。

私の身の周りでは、戦争を体験した人はいない。戦争を学ぶ機会は確実に減っているからこそ、戦後八十周年というふし目に戦争について知ってもらい、二度と戦争を起こさない世界を作ったほうがいい、と私は思うのだ。

みんな笑顔の世界を願つて

山重小学校五年

家族と一緒にご飯を食べているとき、友達と仲良く遊んでいるとき、陸上で好タイムが出せたとき、私は笑顔になれるしゅん間が数え切れないほどあります。これは、

とても幸せな事だと思います。

テレビで戦争のニュースを観るがありますが、そこには幼い子どもから大人まで、みんなが悲しそうな顔、不安そうな顔、苦しそうな顔をしています。戦争は人々の幸せをうばうものだと分かります。日本も昔、戦争をしていて、多くの方が犠牲になったそうです。同じあやまちをくり返してはいけけないと強く思います。だれもが、笑顔で幸せになれる世界にしていきたいです。

## 平和な世界へ

松山中学校一年

今年、戦後八十年になりました。八十年前は、戦争がすごくたくさんの方が亡くなっていったと聞いたことがあります。戦争の時代は、食べ物もなく苦しい生活だったと思います。今でも、戦争をしている国がたくさんあります。戦争をしている国の生活はとても苦しいと思います。私たちが住んでいる日本でも、昔や他の国みたいに苦しいことが起きないようにしていきたいです。日本だけでなく、他の国や戦争をしている国に、戦争は苦しく、厳しい生活だとたくさんの人に伝えていきたいです。そして、小学生などにも伝え、戦争は絶対にしてはいけないものなので、これからも戦争のない平和な世界にしたいです。

## 平和への主張

松山中学校二年

私はいつも思う。なぜ戦争は続くのだろうか。戦争が続くことで、大事な人、領土を失ってしまうのに。戦争の時代に生きていた私の曾祖父に話を聞いてみると、苦しそうな顔をして戦争の話をしてくれた。

「戦争は多くの血が流れ、幼い子供まで苦しめてしまう。」と話した。私はこの話を聞いて、自身のことを想像した。もしも私がこの時代に生まれたとき私はどんな苦しみにあうのだろうか。みなさんも考えてほしい。幼い子供が苦しむ姿を。私はこのようなことが二度とないように戦争への考えを改めてみてほしい。

## 平和を願うメッセージ

志布志中学校二年

戦争について知っていること、戦争が始まれば大学生や高校生でも戦場に行かないといけない。しかも、銃を使ったこともないのに戦場に行かないといけないなんて自分だったら怖くて行けない。

今の時代について思うこと、今の時代は戦争もないし、楽しく過ごせる時代。昔の人たちは、戦争ばかりで楽しくなかっただろう。今の時代は、自然が豊かで平和でいいと思う。

命について考えること、命は一つしかないから一日一日大切にすごそうと思う。昔

の人は、戦場に行つて命を落とすなんて悲しいことだ。でも今の時代を作ってくれたのは昔の人だ、と思う。

### 地球の中で生きる人達に

志布志中学校三年

私は、八十年前に空襲や原爆、飢餓によつてたくさんの方が亡くなったということを知りました。実際に原爆が落とされた長崎に行きました。平和記念公園に行つたとき、人の像や大きな平和記念像、千羽鶴などを見て、どのくらい被害が大きかつたのかを感じました。命は、一人に一つしかないのに戦争などで失うのは、とても良くないと思う。戦つて領地をうばうのではなく、交易や交流などを行い、世界中の人たちが全員で一つの命だと思える世界になってほしい。

### 平和になれ

志布志中学校三年

僕が戦争について知っているのは、とても残酷ということと、食べ物がなくて暮らす家がなくて戦闘機で無残に亡くなるということです。

命について考えているのは、大事だということです。命はお金で買えない、命は一個しかない。だから、僕はこの命を大事にしたいです。今の時代について思うことは、今は外で遊んでいてもあまり怖くなく平和です。昔は原子爆弾が落ちていました。今戦争がおきたらとても嫌です。今は、いろんな所で戦争して日本も巻き込まれそうでもとても怖いのです。戦争が早く終わつて、世の中が平和になってほしいです。

### 平和の大切さ

宇都中学校三年

私は、平和はとても大切だと思う。戦争をしないこともだけど、毎日友達と楽しく笑い合えることも「平和」だと思う。当たり前だと思つていることも、当たり前ではなくて、これからも守つていく、大切なことだと思う。これからの未来のためにも、日常の中にある小さな平和を大切にしていきたい。それが明るい平和な未来につながると思う。

## 線香花火

宇都中学校三年

戦後八十年の節目の年を迎えた。私と同じような年の子供から大人の方まで、たくさん尊い命は、線香花火のようにはかなく散った。そして、それがポトッと落ちると同時に終戦となった。

戦争さえなければ、花火はもつと命を燃やして、何分も何時間も輝き続けていたのかも知れない。でも、いくら下を向いたってもう火は灯らないし灯せない。

私たちが輝く未来のために命を奪われ傷ついた先人たちと、その命を奪った戦を、私は絶対に忘れない。先人たちが紡いだ命を大切にしていこうと、それが私たち後世にできる最大の恩返しだ。

## 世界へのメッセージ

宇都中学校三年

戦争は人と人が殺し合うとても悲惨で残酷なことである。日本では一九四五年にポツダム宣言を受諾し戦争は終結しているが、未だに戦争をしている国々もある。いったいなぜその国々は戦争をしているのだろう。戦争による被害にあっている人々はどんな思いで今を生きているのだろう。

僕は、すべての国が戦争をやめれば、核兵器に使う鉄も火薬も、もつと良い使い方ができると思う。また、世界が平和になれば国際的にももつと良い関係が生まれ、さまざまな人達との交流ができると思う。これらのことを実現させることさえできれば、地球に住む生き物として、「人間」として技術がまた発展するのではないだろうか。

## アイス

宇都中学校三年

戦争をやめて 代わりにアイスを食べよう

戦争をやめて 代わりに誕生日を祝おう

戦争をやめて 代わりに思いっきり泣こう

戦争をやめて 代わりにドラマを見よう

戦争をやめても自分を責めないで

悪いのは貴方じゃない

貴方は一人じゃない

## 平和とは何か考える

伊崎田中学校三年

今年で終戦から八十年がたちました。そこで平和とは何かを考えます。みなさんは「平和」と聞いて何を思い浮かべますか？「戦争や争いをなくす。」とか「差別をなくす。」とかでしょうか。僕は昨年、広島の平和記念資料館に行きました。そこで僕は、遺書を見てひざから崩れ落ち、涙を流している人を見ました。僕は、その姿を見て、戦争や争いで失われてしまった尊い命で涙を流す人がいなくなってほしいと強く思いました。

今でも、世界に視点を向けてみると、紛争や争いが絶えない状況です。そんな争いで、悲しい涙を流す人がいなくなることが本当の「平和」なのではないかと僕は考えます。

## 一日一日を大切に

尚志館高校一年

私は、今年で戦後八十年になると知り、夏休みに知覧特攻平和会館へ行きました。知覧特攻平和会館の中には、たくさんの特攻隊の方の遺書や遺品がありました。遺書を読むと「笑顔でいきます」や「あなたの平和を願う」などたくさんの思いが込められていました。私たちは、当たり前のように、おいしいご飯を食べたり、学校に行ったりしているけれど八十年前は多くの人々が苦しみ悲しみながら生きていたと思うと、私たちが過ごしている今はすごく幸せだと思います。もう二度と戦争や紛争を起さないために私たちが戦争の悲惨や平和の尊さをもっと多くの人に伝えていきたいです。そして、一日一日を大切にしながら生きていきたいです。

## 平和を願わずにはいられない

尚志館高校三年

戦争で得られる幸福とは何だろうか。賠償金か。または植民地か。しかし、これらは必ず誰かの「不幸」の上に成り立っている。良い戦争なんてあったためしがない。視点を変えると、悪い平和なんてものもあつたためしがない。アメリカの小説家であるアーネスト・ヘミングウェイは戦争についてこう語っている。「いかに必要とされ、正当化されようが、戦争が犯罪であることは変わらない」私はこの一言を本で見つめた時、深い感銘を受けた。正しい戦争が、正当化されても良い戦争があるはずがない。罪なき人々の命が散って良いはずがない。戦争という名の大規模犯罪を繰り返さないように、今日も私は、平和を願わずにはいられない。

## 編集後記

『志の言の葉く大切な人に伝えたい私の思いく（第五集）』を御覧いただき、ありがとうございます。日々の中で感じる感謝の気持ちや平和への願いを、形にしてお届けすることができ、心から嬉しく思います。

一人一人の作品を読み進めていく中で、皆さんが抱く思いの温かさや優しさに触れるたび、人と人とのつながりの尊さを改めて実感しました。それぞれの言葉の中に、日常の中で紡ぎ出された感謝があり、平和を求める切実な願いが込められていることに心を揺さぶられる瞬間の連続でした。

この文集がここからさらに広がり、受け取った人々の心に小さな光を灯し、それがまた新たなつながりを生むことを心から願っています。平和を願う声は決して一人のものではなく、感謝の気持ちもまた連鎖していくものです。この文集は一つの終わりではなく、むしろ新たな気付きと行動の始まりでありますように、と願うばかりです。

最後になりましたが、本紙の発行にあたり、御協力いただいた先生方、寄稿してくださった児童生徒や保護者の皆様、地域の皆様に深く感謝申し上げます。これからも様々な取組を通じて、志布志市の教育をより充実させてまいります。今後とも御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和八年一月

発行 志布志市教育委員会